

科目名 (英)	英会話 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	Mark Zolotar
	(English)	授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前編・後編・通年・集中 中等
学科・コース	こども保育1年+スポーツ科学1年						
教員の略歴	ヨーク大学卒業後ビクトリア大学修士課程修了、テーチングアシスタント、英語教師を経てBeyond School in Sendai CEO						
授業の学習内容	滋慶学園の英語教育に長期に渡って携わり、Active Learningに取り組んできたネイティブの英語教員が、学生が専門分野に関連した専門英語の基本的な表現を使って、外国人を前に怖がったり、恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につけることを目的としたコミュニケーション主体の授業を行う。						
到達目標	海外研修や将来のキャリアなどで役に立つ基本的な英会話や英語表現を習得する。						
評価方法及び基準	評価は、100点満点の筆記試験で行う。授業で学習した内容の定着度を確認する。評価は学則規定に準ずる。						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1	10/8	講義	クラスオリエンテーション L1 挨拶が出来るようになる		教科書の復習		
2	10/15	講義	L3 個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る		教科書の復習		
3	10/22	講義	L6 好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる		教科書の復習		
4	10/29	講義	L8 相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる		教科書の復習		
5	11/5	講義	L11 相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に返答出来るようになる		教科書の復習		
6	11/12	講義	L7 L13 時間を尋ねることが出来るようになる 時間を伝えることが出来るようになる 相手の日課について質問が出来るようになる 自分の日課について説明出来るようになる		教科書の復習		
7	11/19	講義	L14 継続して質問することが出来るようになる		教科書の復習		
8	11/26	講義	L19 L20 ある場所の位置について質問出来るようになる ある場所の位置を説明出来るようになる 道案内が出来る、道順を尋ねることが出来るようになる		教科書の復習		
9	12/3	講義	L21 L23 ある行動の頻度について尋ねることが出来るようになる ある行動の頻度を説明出来るようになる		教科書の復習		
10	12/10	講義	L28 ある食べ物について質問出来るようになる ある食べ物を説明出来るようになる		教科書の復習		
11	12/17	講義	L29 L30 過去の出来事について話すことが出来るようになる 過去の出来事について尋ねることが出来るようになる		教科書の復習		
12	1/14	講義	L32 予定について質問出来るようになる 予定について説明出来るようになる		教科書の復習		
13	1/21	講義	習った内容の振り返り		教科書の復習		
14	1/28	講義	定期試験に向けて復習する				
15	2/4	講義	定期試験				
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 □							
Speak Now 1							

科目名 (英)	健康科学 (Health Science)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	藤村 真仁
学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時限	後期 水曜4限
教員の略歴	仙台医健・スポーツ&こども専門学校専任教員						
授業の学習内容	子どもの健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養えるために、子どもの発達の側面から、心身の健康に関する領域である「健康」について考える力をつけたい。 そのため、①スポーツの概念、健康の概念、社会生活の変化とスポーツ、健康・体力と運動について知識をつける、②テレビ、新聞・雑誌、インターネットなどから子どもと健康に関する情報を収集し、自分がどのように行動していくかについて考える ことを中心に授業を展開する						
到達目標	健康維持や体力向上に対するスポーツ活動のもつ教育的意義について説明することができる 「子ども」と「生涯スポーツ」の在り方について説明することができる						
評価方法と基準	1) レポート提出 2) 出席数						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1	10/6	講義	健康概論、健康・スポーツ概念について理解する		
2	10/13	講義	健康概論、からだの仕組み・発達について理解する	子どもと健康に関するニュースを調べておく	
3	10/20	講義	体力と健康について理解する	子どもと健康に関するニュースを調べておく	
4	10/27	講義	体力と健康について理解する	子どもと健康に関するニュースを調べておく	
5	11/3	講義	運動と健康について理解する	子どもと健康に関するニュースを調べておく	
6	11/10	講義	栄養と健康について理解する	子どもと健康に関するニュースを調べておく	
7	11/17	講義	環境と心と健康について理解する	子どもと健康に関するニュースを調べておく	
8	11/24	講義	まとめ、レポートを作成する	子どもと健康に関するニュースを調べておく	
準備学習		時間外学習			
【使用教科書・教材・参考書】 □					
適宜プリント配布					

科目名 (英)	情報処理入門 I (Information Processing Introduction I)		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	阿部 ぬさみ
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 (単位)	30時間 (2単位)	開講区分 曜日・時限	後期 月曜日 4時限目
教員の略歴	Word・Excel・PowerPointの操作方法を専門学校・PCスクール・企業研修・就職支援などで指導							
授業の学習内容	現代では業種・職種を問わず社会生活に必須となっているパソコンのスキルが求められています。シェア率が90%を超えているWindows系のOfficeを実技を中心として学び、職場での活用技術を身に着ける。 業務の報告書の作成、チェック表の作成分析、お便りなどの資料作りなど。 保育士として必要なパソコンスキルを学ぶ。							
到達目標	Word・Excel・PowerPointの基本操作、効率の良い使用方法、また、実務例に基づいたレポート・資料などの作成ができるレベルを目指す							
評価方法と基準	実技試験70% 出席点15% 平常点15%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10/4	講義	SNSを使用する上での注意点を学ぶ	準備学習
2	10/18	実習	効率のよい入力方法を覚える	Windowsの基本操作（日本語入力・マウス操作・キーボード操作）やファイル・フォルダーの扱い（作成・移動・コピーなど）ができる方が望ましい 学習課題 積み重ね授業になるので、授業終了後は復習をし、確実に次の時間に活かせることが望ましい
3	10/25	実習	Wordの基本編集機能を操作できる	
4	11/1	実習	ビジネス文書の基本ルールを覚える	
5	11/8	実習	表を作成・編集できる	
6	11/15	実習	インパクトのある文字を作成できる	
7	11/22	実習	図や図形を挿入できる	
8	11/29	実習	印刷の設定ができる	
9	12/6	実習	四則演算ができる	
10	12/13	実習	簡単な関数や、参照方法ができる	
11	12/15	実習	表を編集し、印刷設定ができる	
12	12/20	実習	円グラフ・棒グラフを作成できる	
13	12/22	実習	複合グラフを作成できる	
14	1/17	実習	実技試験	
15	1/24	試験	試験解説	
準備学習 時間外学習			パソコン操作に慣れるためにも時間外にも報告書・課題などパソコンを使用して作成してほしい	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
滋慶出版社 Word2016・Excel2016				

科目名 (英)	日本国憲法 (The Constitution of Japan)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	淡路智典
学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 火曜・3限
教員の略歴	H25年より東北文化学園大学にて法学概論、憲法、行政法総論等の指導にあたる。						
授業の学習内容	憲法は教職課程において、必ず履修しなければいけない科目である。なぜならば、教育とは個人を育てるとともに社会や国家の形成者である市民を育てるものでもあるからである。そのため、教育者は国家の根本を定め、社会のルールの根幹をなす法である憲法を知る必要がある。そこで、この授業では憲法の基本的な内容を扱う憲法総論、国家によっても侵害されることのない個人の権利を扱う人権論、国家の基本的な仕組みをさだめる統治機構論をそれぞれ見ていく。できるだけ学生に身近な話題を絡めつつ、憲法の基本的な考え方や条文解釈を説明し、学生たちが自らの見解を持てるようにする。						
到達目標	①憲法という国家の根本法について基礎的な概念を理解する。 ②基本的人権や統治機構のあり方に関して、自己の見解を持てるようにする。						
評価方法及び基準	期末試験の点数に平常点を加味して決定する。 内訳：期末試験 80%、平常点 20% A評価：100～80 B評価：79～70 C評価：69～60 D評価：59以下 F評価：出席日数不足等 準備学習は教員からの問いかけに対する返答等で評価し、平常点に組み込む。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月6日	オンライン講義	憲法の概要を知る	教科書の該当箇所の予習・復習
2	4月20日	オンライン講義	基本的人権とは何かを知る	教科書の該当箇所の予習・復習
3	4月27日	オンライン講義	法の下での平等を理解する	教科書の該当箇所の予習・復習
4	5月11日	オンライン講義	思想・良心・信教の自由を知る	教科書の該当箇所の予習・復習
5	5月18日	オンライン講義	表現の自由について知る	教科書の該当箇所の予習・復習
6	5月25日	オンライン講義	学問の自由について知る	教科書の該当箇所の予習・復習
7	6月1日	オンライン講義	教育を受ける権利について知る	教科書の該当箇所の予習・復習
8	6月8日	オンライン講義	経済的自由権について知る	教科書の該当箇所の予習・復習
9	6月15日	オンライン講義	刑事事件で保障される権利を知る	教科書の該当箇所の予習・復習
10	6月22日	オンライン講義	国民主権と参政権について知る	教科書の該当箇所の予習・復習
11	6月29日	オンライン講義	平和主義について知る	教科書の該当箇所の予習・復習
12	7月6日	オンライン講義	立法・行政・司法について理解する	教科書の該当箇所の予習・復習
13	7月13日	オンライン講義	地方自治について知る	教科書の該当箇所の予習・復習
14	7月20日	オンライン講義	憲法の思想と歴史を知る	教科書の該当箇所の予習・復習
15	7月27日	オンライン講義	憲法についての知識を確かめる	学習内容をまとめ、自己の見解を作る
準備学習 時間外学習			教科書の予習・復習とともに、ニュースで話題になっている憲法問題について考えること。	
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				
西原博史・斎藤一久編著『教職課程のための憲法入門【第2版】』(弘文堂、2019年)				

科目名 (英)	職業人教育 (Professionals EducationI)		必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	富樫裕一
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期 金曜3限
教員の略歴	宮城教育大学大学院修士課程修了、昭和52年～平成7年幼稚園教諭として勤務、その後専門学校専任教員を務め、大学・専門学校非常勤講師							
授業の学習内容	基本的日本人の人間関係の関わり方より日本の社会構造と職場に行ったときの人間関係を知る。							
到達目標	日本人の人間関係の関わり方を知り、保育所等の指導案をもとにしたロールプレイで自信をもつ							
評価方法と基準	レポート、ロールプレイ 70% 出席 30%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/9	講義	自己紹介、挨拶の基本について学ぶ	学習したことを理解する
2	4/16	講義	高橋副校長による講話を聴く	学習したことを理解する
3	4/23	講義	保育におけるコンピテンシーについて理解する	学習したことを理解する
4	5/7	講義	羽田副校長による講話を聴く	学習したことを理解する
5	5/14	講義	コミュニケーション・身だしなみについて学ぶ	学習したことを理解する
6	5/21	講義	コミュニケーション・身だしなみについて学ぶ	学習したことを理解する
7	6/18	講義	社会人としての身だしなみを学ぶ	学習したことを理解する
8	6/25	講義	顔の表情と意図について理解する	学習したことを理解する
9	7/9	講義	無意識な表情としぐさは何を伝えるか学ぶ	学習したことを理解する
10	7/9	講義	科目の意味合いと学習方法について理解する	学習したことを理解する
11	7/16	講義	電話のマナー、手紙のマナーを学ぶ	学習したことを理解する
12	7/16	講義	高校の恩師に手紙を書けるようになる	学習したことを理解する
13	7/23	講義	自分の両親に手紙を書けるようになる	学習したことを理解する
14	7/23	講義	保育業界用語解説①について学ぶ	学習したことを理解する
15	7/30	講義	保育業界用語解説②について学ぶ	学習したことを理解する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
保育者としての国語表現 他				

科目名 (英)	職業人教育 (Professionals EducationI)		必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	富樫裕一
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期 金曜2限
教員の略歴	宮城教育大学大学院修士課程修了、昭和52年～平成7年幼稚園教諭として勤務、その後専門学校専任教員を務め、大学・専門学校非常勤講師							
授業の学習内容	挨拶、ことば遣い、手紙の書き方、文章のまとめ方など現場ですぐに必要なマナーやすきるについて、実践的に学ぶ。							
到達目標	社会人としての基本的なマナーを身につけ、対人援助職にふさわしい人間性を養う。							
評価方法と基準	定期テスト70% 出席 30%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
16	9/10	講義	保育業界用語解説③について学ぶ	学習したことを理解する
17	9/17	講義	保育者としてよい国語表現のために学ぶ	学習したことを理解する
18	10/8	講義	会話表現(基礎編)を学ぶ	学習したことを理解する
19	10/15	講義	会話表現(応用編)1～3を学ぶ	学習したことを理解する
20	10/22	講義	会話表現(応用編)4～8を学ぶ	学習したことを理解する
21	10/29	講義	文章表現(基礎編)1～4を学ぶ	学習したことを理解する
22	11/5	講義	文章表現(応用編)1～4を学ぶ	学習したことを理解する
23	11/12	講義	文章表現(応用編)5～8を学ぶ	学習したことを理解する
24	11/19	講義	演習問題1～12を学ぶ	学習したことを理解する
25	11/26	講義	演習問題13～24を学ぶ	学習したことを理解する
26	12/17	講義	天声人語①～③を学ぶ	学習したことを理解する
27	1/14	講義	天声人語④～⑥を学ぶ	学習したことを理解する
28	1/21	講義	天声人語⑦～⑨を学ぶ	学習したことを理解する
29	1/28	講義	天声人語⑩～⑬を学ぶ	学習したことを理解する
30	2/4	講義	天声人語⑭～⑮ 試験、まとめ	学習したことを理解する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				
保育者としての国語表現 他				

科目名 (英)	幼児の心理学 (Psychology of infant)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	江崎 浩明
学科・コース	こども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 1	開講区分	後期 月曜5限
教員の略歴	大学院にて心理学を専攻。その後、産業・学校・医療領域にて約15年間、教育、相談業務に従事。						
授業の学習 内容	幼児の心理学を学ぶ大前提である心理学の成り立ちや基礎的な心理学用語・概念を学び、その後、人が持つ考え方や捉え方の特徴について学びます。特に、幼児期からの関わりが、後の人格形成や積極的に物事に取り組むようになるか否かに大きな影響を与えるため、適切な関わり方について学びます。また、自分自身を支える一つの柱として心理学的な視点を養います。						
到達目標	心理学の歴史や他の周辺領域との関連性、用語や概念を学術的基盤に則って学ぶことにより、雑学的な知識ではなく人間を理解する一助としての基礎心理学について理解する。 こども特有の物事の捉え方(認知)や人格形成にかかわる環境要因を理解する。						
評価方法と基準	1. 定期試験100%(選択式と記述式)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義	オリエンテーション 心理学の誤解と偏見について理解する。	心理学に対するイメージを考えておく
2	10月11日	講義	心理学の種類と分類 基礎心理学と応用心理学の違いについて理解する。	心理学が誤用・悪用されている例を考えておく ○○心理学の○○に入りそうな言葉を考えておく
3	10月18日	講義	心理学の歴史 哲学からの独立やその後の広がりについて理解する。	哲学や倫理学などの周辺学問との違いについて考察しておく
4	10月25日	講義	学習 何かを経験する前と後で思考や行動が変化することを理解する。	これまでの勉強や学習の方法について考えておく
5	11月1日	講義	記憶 記憶の種類と分類・時間的変遷や、定着させる為の方法・忘却について理解する。	自分の得意な記憶と苦手な記憶、考えなくても半自動的に動ける体の記憶について考えておく
6	11月8日	講義	動機づけ やる気の創出や持続、“やらされる”ことと“やりたい”の違いについて理解する。	これまでに挫折したことや、「自分にはどうせ○○はできない」と思っている事を考えておく。
7	11月15日	講義	性格 性格と気質の違いや、形成要因、変容させるための要件について理解する。	自分自身の嫌いな性格の側面や変えたい考え方・捉え方について考えておく
8	11月22日	講義	知能 知能の構成要素や形成要因、創造性・適応力について理解する。	頭がいいとはどういうことか、正解の無い問題に対して今までどう対処してきたかを思い出してお
準備学習 時間外学習			学んだ概念を、日々の生活で感じ・思い返して復習してください。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
保育に生かす教育心理学 伊藤健次 編 (株)みらい				

科目名 (英)	教育原理	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐藤 哲也
	(Education Principle)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 火曜・1限
学科・コース	こども保育科						
教員の略歴	青山学院大学大学院博士課程修了後大学等で教育に従事、宮城教育大学教育学部教授						
授業の学習内容	教育の意義、目的、概念に関する基礎的な知識を習得し、教育の思想及び歴史の基礎を理解し、実践展開していく方途について考えていく。						
到達目標	本講義は、保育所・幼稚園・認定こども園の保育者をめざす上で必要な教育学全般(教育哲学、教育思想、教育史、教育制度、教育課程、教育方法)の基礎知識を教授する。子どもを指導援助する専門職に期待される資質を養っていく。						
評価方法及び基準	5回の小テスト(50点)、試験(50点)、合計60点以上で単位を認定する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月6日	オンライン講義	教育とは何かを学ぶ	授業で配付する資料を熟読すること。
2	4月20日	オンライン講義	教育の形態と機能を理解する	第3回目の授業で小テスト(1)を行うので、授業内容を復習しておくこと。
3	4月27日	オンライン講義	ギリシャ・ローマの教育について学ぶ	授業で配付する資料を熟読すること。
4	5月11日	オンライン講義	近代教育の黎明を学ぶ	授業で配付する資料を熟読すること。
5	5月18日	オンライン講義	植物栽培モデルの教育思想を学ぶ	第6回目の授業で小テスト(2)を行うので、3回目から5回目までの授業内容を復習しておくこと。
6	5月25日	オンライン講義	保育所と幼稚園の起源を理解する	授業で配付する資料を熟読すること。
7	6月1日	オンライン講義	子ども中心主義の教育について理解する	テキスト第4章や幼保連携型認定こども園教育・保育要領の内容を確認すること。
8	6月8日	オンライン講義	日本の教育(明治以前)について学ぶ	第8回目の授業で小テスト(3)を行うので、6回目・7回目までの授業内容を復習しておくこと。
9	6月15日	オンライン講義	日本の教育(明治以降)について学ぶ	授業で配付する資料を熟読すること。
10	6月22日	オンライン講義	日本における幼児教育の発展について学ぶ	授業で配付する資料を熟読すること。
11	6月29日	オンライン講義	教育の制度を理解する	第12回目の授業で小テスト(4)を行うので、8回目~11回目までの授業内容を復習しておくこと。
12	7月6日	オンライン講義	教育の法規を理解する	授業で配付する資料を熟読すること。
13	7月13日	オンライン講義	教育の方法を理解する	授業で配付する資料を熟読すること。
14	7月20日	オンライン講義	教育課程の基礎理論を学ぶ	第15回目の授業で小テストを行うので、12回目~14回目までの授業内容を復習しておくこと。
15	7月27日	オンライン講義	テスト	これまでの授業内容について復習して、ポイントを理解しておくこと。
準備学習 時間外学習			必要に応じて授業中に資料を配付する。それらの資料を熟読すること。	
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				
授業内で資料を配布				

科目名 (英)	造形表現(指導法)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	相馬 亮
	(Modeling expression (teaching method))	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	15 1	開講区分	後期 月曜3限
学科・コース	こども保育科						
教員の略歴	保育士へ造形表現教育の指導経験のある実務家教員が本授業を担当する。						
授業の学習内容	幼稚園教育要領・保育所保育指針「表現」領域の中の造形・表現活動の分野について理解を深める。また、実際の保育実践に即した演習や指導案の作成、発表を通して、現場の保育者となったときに、造形・表現活動に意欲的に取り組むことができる保育者としての、基礎的な資質や力量の形成を目指す。						
到達目標	①造形表現活動指導についての基礎的かつ実践的な知識を身につけることができる。 ②子どもたちの発達段階や日々変化する教育現場に対応できるよう、基本概念、指導方法、教材開発の力を身につけ、自分なりの「造形教育観」をもつことができる。						
評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への態度 10%(授業への取り組みの姿勢、授業準備、出席等により評価する) ・ポートフォリオ 10%(授業のプリント等のまとめの様子から評価する) ・指導案 20%(適切な指導案が作成されているかで評価する) ・試験 60% 						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9/27	講義	造形表現の意義について理解することができる	子どもの造形表現について調査してくる
2	10/4	講義	幼稚園教育要領・保育所保育指針について理解することができる	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」を熟読してくる
3	10/18	講義	子どもの絵の発達について理解することができる	子どもの絵について調査してくる
4	10/25	講義と演習	造形表現の材料と用具について理解することができる	様々な描画材について調査してくる
5	11/1	講義	レッジョ・エミリアの教育から学ぶことができる	レッジョ・エミリアについて調査してくる
6	11/8	講義と演習	指導案の草案を作成することができる	何をテーマに活動するかを考えてくる
7	11/15	講義と演習	指導案の参考作品を制作することができる	指導案作成を進めておく
8	11/22	講義と演習	指導案を完成させることができる	指導案作成を完成させておく
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	社会福祉	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	徳田 律子
	(Social Welfare)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期 木曜・2時限
学科・コース	子ども保育科						
教員の略歴	平成11年から現在まで県内外の大学、専門学校にて社会福祉科目を指導する。						
授業の学習内容	保健・医療・福祉といった枠組みは、あらゆる生活場面における諸サービスと有機的に連携し機能していくシステムである。現代社会においては保育もまたそうした「ソーシャル・サービス」の一つであり、福祉という視点からその運営、供給について理解を深めることを通じて、そのあり方を考察することを目的とする。そこで本講では、社会福祉の歴史の変遷をたどりつつ、現代福祉の実際や諸外国の社会福祉制度の実際について学び、わが国における社会サービスのあり方について理解を深める。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉の歴史の変遷を通じて、社会動向の影響を受ける社会システムの実際について整理することができるようになる ・福祉を生活の視点から捉え直し、福祉対象者の抱えるニーズおよび専門職者としての具体的な支援方法について理解し、適切に説明できるようになる ・わが国における福祉政策を大局的に捉え、表面的問題のみならず政策に対する判断や自己の意見が述べられるようになる 						
評価方法及び基準	授業内で準備学習状況あるいは達成度確認レポート課題により(3割)、および定期試験における筆記試験により(7割)の総合評価とする						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9月30日	講義	なぜ社会福祉を学ぶのか考える	レポート：社会福祉の定義について調べる
2	10月7日	講義	古代社会における貧困と支援についてまとめる	レポート：古代社会における福祉の特徴についてまとめる
3	10月14日	講義	資本主義経済と近代的貧困の関係を理解する	レポート：近代社会における資本主義経済と貧困の関係について説明する
4	10月21日	講義	戦後の福祉施策の展開を知る	レポート：第二次世界大戦後の国民の生活の様子についてまとめる
5	10月28日	講義	現代社会福祉の理念を理解する	レポート：ノーマライゼーションについて調べる
6	11月4日	講義	バリアフリーの課題についてまとめる	レポート：バリアフリーの実際について生活の中からまとめる
7	11月11日	講義	低所得者問題の実際を考える	レポート：生活保護受給者の動向について調べる
8	11月18日	講義	高齢者の福祉ニーズと支援の実際を知る	レポート：認知症者数の動向について調べる
9	11月25日	講義	児童の福祉ニーズと支援の実際を知る	レポート：児童虐待の実際について調べる
10	12月2日	講義	障害者のニーズと支援を知る	レポート：ICIDHとICFについてまとめる
11	12月9日	講義	イギリスの福祉制度の発展について理解する	レポート：セトルメントについて調べる
12	12月16日	講義	アメリカの医療保障制度の問題について議論する	レポート：映画ジョンQを観て医療保障問題について整理する
13	1月13日	講義	スウェーデンの福祉国家の仕組みについて理解する	レポート：スウェーデンのエーデル改革について調べる
14	1月20日	テスト	定期試験	レポート：これまでの授業をプリントなどから整理する
15	1月27日	講義	現代社会福祉の課題と展望を考える	議論
準備学習 時間外学習			授業の最後にまとめを行い、次の授業内容とそれに向けた課題について適宜指示する	
【使用教科書・教材・参考書】				
社会福祉概論				

科目名 (英)	社会的養護 I (Social Care I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	鑑 さやか
学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 木曜3限
教員の略歴	平成13年より現在まで県内外の大学、短期大学にて社会福祉科目を指導する。						
授業の学習内容	子育ては原則として両親が家庭で養育するものであるが、核家族化の進行、地域の養育力の減少、女性の社会進出などの種々の社会的要因で家庭での子育てが両親や親族だけでは難しくなっている。児童虐待の増加や子どもの貧困など子どもをめぐる問題が顕在化するなかで、子どもの権利と国民の義務としての社会的養護のシステムがどのように構築されているかを学ぶ。また児童養護の歴史的な変遷などを学ぶことにより、今後の社会的養護の枠組みも考える。						
到達目標	①社会的養護とは何か、子どもの権利とはどのようなことかを理解する ②社会的養護の制度・仕組みを理解する ③社会的養護の歴史を学び、現在につながる理念・諸制度を理解する						
評価方法と基準	定期試験(70%) ミニレポート(20%) 出席・授業への参加態度(10%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9月30日	講義	オリエンテーションを実施し、講義の進め方や概要を理解する	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
2	10月7日	講義	社会的養護の理念と概念を理解する	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
3	10月14日	講義	社会的養護の歴史的変遷①を理解する	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
4	10月21日	講義	社会的養護の歴史的変遷②を理解する	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
5	10月28日	講義	児童の権利擁護と社会的養護を理解する	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
6	11月4日	講義	社会的養護の制度と法体系①を理解する	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
7	11月11日	講義	社会的養護の制度と法体系②を理解する	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
8	11月18日	講義	社会的養護の仕組みと実施体制①を理解する	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
9	11月25日	講義	社会的養護の仕組みと実施体制②を理解する	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
10	12月2日	講義	家庭養護と施設養護を理解する	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
11	12月9日	講義	施設養護の基本原則を理解する	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
12	12月16日	講義	施設養護の実際を理解する	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
13	12月16日	講義	施設養護とソーシャルワークを理解する	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
14	1月13日	講義	社会的養護を取り巻く現代的課題①を理解する	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
15	1月20日	講義	社会的養護を取り巻く現代的課題②を理解する	教科書の該当箇所を読み、専門用語の意味を理解しておく
準備学習 時間外学習			復習は、配布資料の穴埋め箇所を中心に行うこと	
【使用教科書・教材・参考書】 □ 公益財団法人児童育成協会＝監修／相澤仁、林浩康＝編集 基本保育シリーズ6 社会的養護 中央法規出版				

科目名 (英)	教職概論 (Teaching Introduction)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐藤 哲也
学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 曜日・時限 火曜・2限
教員の略歴	青山学院大学大学院博士課程修了後大学等で教育に従事、宮城教育大学教育学部教授						
授業の学習内容	幼稚園教諭・保育教諭に求められる職業知識・倫理の基礎について学ぶ。教職の意義や教師の役割、教師の資質と専門性、職務内容(研修、服務及び身分保障を含む)、子どもの育ちと子育て支援、幼小の円滑な接続などについて解説していく。						
到達目標	保育者の仕事内容、役割、専門性について理解するとともに、保育者に求められている職能について、多角的な視点から考えることができるようになる。						
評価方法及び基準	5回の小テスト(50点)、試験(50点)、合計60点以上で単位を認定する。						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1	4月6日	オンライン講義	教職とは何かを理解する		授業で配付する資料を熟読すること。
2	4月20日	オンライン講義	教職をめぐる法規定を理解する		第3回目の授業で小テスト(1)を行うので、授業内容を復習しておくこと。
3	4月27日	オンライン講義	子どもの発達を支える教師とはどのようなものか理解する		授業で配付する資料を熟読すること。
4	5月11日	オンライン講義	子ども・学校・教職をめぐるパラダイム転換について理解する		授業で配付する資料を熟読すること。
5	5月18日	オンライン講義	子どもの資質・能力を育む教育について理解する		第6回目の授業で小テスト(2)を行うので、3回目から5回目までの授業内容を復習しておくこと。
6	5月25日	オンライン講義	子どもの生活環境の変容と教職の課題について理解する		授業で配付する資料を熟読すること。
7	6月1日	オンライン講義	遊びを指導する教師について理解する		テキスト第4章や幼保連携型認定こども園教育・保育要領の内容を確認すること。
8	6月8日	オンライン講義	遊びの基礎理論について理解する		第8回目の授業で小テスト(3)を行うので、6回目・7回目までの授業内容を復習しておくこと。
9	6月15日	オンライン講義	遊びの基礎理論について理解する		授業で配付する資料を熟読すること。
10	6月22日	オンライン講義	子どもの協同性を育む教師とはどのようなものか学ぶ		授業で配付する資料を熟読すること。
11	6月29日	オンライン講義	自然環境をコーディネートする教師とはどのようなものか理解する		第12回目の授業で小テスト(4)を行うので、8回目～11回目までの授業内容を復習しておくこと。
12	7月6日	オンライン講義	子どもの学びを育む教師とはどのようなものか理解する		授業で配付する資料を熟読すること。
13	7月13日	オンライン講義	人的環境としての教師像を理解する		授業で配付する資料を熟読すること。
14	7月20日	オンライン講義	幼保小連携を促す教師像を理解する		第15回目の授業で小テスト(5)を行うので、12回目～14回目までの授業内容を復習しておくこと。
15	7月27日	オンライン講義	テスト		これまでの授業内容について復習して、ポイントを理解しておくこと。
準備学習 時間外学習			必要に応じて授業中に資料を配付する。それらの資料を熟読すること。		
【使用教科書・教材・参考書】 □ 教職概論・授業中に適宜資料を配布					

科目名 (英)	教育課程総論 (Curriculum Review General Remarks)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐藤 哲也
	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期 曜日・1限	
学科・コース	こども保育科						
教員の略歴	青山学院大学大学院博士課程修了後大学等で教育に従事、宮城教育大学教育学部教授						
授業の学習内容	幼稚園、保育所、認定こども園のカリキュラム・全体的な計画について、様々な視点から学んでいく。カリキュラムの基礎理論や今日的課題について解説するとともに、実践展開を紹介しながら、指導計画作成や評価、指導(保育)要録作成についても理解を深めていく。						
到達目標	カリキュラムの基礎理論を理解した上で、就学前保育・教育に展開していく上での知見を身に付ける。様々な保育・教育課程について学び、その実践的意義について理解する。保育課程をめぐる今日的課題について理解する。日案をはじめ指導案(指導計画)を作成するためのスキルを身に付ける。						
評価方法及び基準	5回の小テスト(50点)、レポート(50点)、合計60点以上で単位を認定する。						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1	9月30日	講義	保育計画・幼児教育教育カリキュラムの意義	テキストの第1章を熟読すること。	
2	10月7日	講義	保育カリキュラムの基礎知識について学ぶ	第3回目の授業で小テストを行うので、授業内容を復習しておく	
3	10月14日	講義	保育カリキュラムの構造について学ぶ	テキストの第8章を熟読すること。	
4	10月21日	講義	保育内容の変遷と教育課程(明治・大正)について学ぶ	授業内容に関わる参考文献を紹介するので、各自講読すること。	
5	10月28日	講義	幼稚園教育要領の変遷(昭和・平成)について学ぶ	テキスト第4章や過去の幼稚園教育要領の内容を確認すること。	
6	11月4日	講義	保育所保育指針の概要について理解する	テキスト第4章や過去の保育所保育指針の内容を確認すること。	
7	11月11日	講義	幼保連携型認定こども園教育・保育要領の概要	テキスト第4章や幼保連携型認定こども園教育・保育要領の内容を確認すること。	
8	11月18日	講義	保育評価とPDCAサイクルについて理解する	テキストの第2章・第3章を熟読すること。	
9	11月25日	講義	指導要録と保育要録について理解する	テキストの第14章及び配付資料を熟読すること。	
10	12月2日	講義	地域・社会にひらかれた保育カリキュラムについて理解する	ネットを検索して実践事例について調べておくこと。	
11	12月9日	講義	異年齢混合保育のカリキュラムについて理解する	ネットを検索して実践事例について調べておくこと。	
12	12月16日	講義	保幼小連携・接続カリキュラムについて理解する	宮城県教育委員会(義務教育課と企画課)作成資料を熟読すること。	
13	1月13日	講義	特別支援保育のカリキュラムについて理解する	発達障害の特徴について、文献等で確認しておくこと。	
14	1月20日	講義	人権保育カリキュラムについて理解する	授業配付資料を熟読して、その実践展開について理解しておくこと。	
15	1月27日	講義	カリキュラム・デザインの未来について理解する	授業配付資料を熟読して、問題意識を喚起しておくこと。	
準備学習 時間外学習			幼稚園教育要領解説、保育所保育指針解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説を読んでおくこと。		
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>					
佐藤哲也編、子どもの心によりそう保育・教育課程論、福村出版、2018年					

科目名 (英)	教育方法論	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐藤 哲也
	(Education methodology)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 火曜4限
学科・コース	こども保育科						
教員の略歴	青山学院大学大学院博士課程修了後大学等で教育に従事、宮城教育大学教育学部教授						
授業の学習内容	小学校以降の教育方法との相違点に留意しながら、乳幼児期の教育方法の基本原則を知識として習得する。また、習得した知識を「実際の保育現場で活用する」という意識を持つ。						
到達目標	教育の方法に関する理論的知識を習得すること。 乳幼児期の教育の方法に関する基本原則を理解し、説明できること。 上記を踏まえ、保育現場における実践を構想できること。						
評価方法と基準	レポート、科目終末試験 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	6/8	オンライン講義	教育方法の基礎、幼児教育の歴史について理解できる	教科書を熟読してくる
2	6/8	オンライン講義	教育方法の基礎、幼児教育の歴史について理解できる	教科書の復習をしてくる
3	6/15	オンライン講義	環境を通して行う教育の意義と保育者の関わりについて理解できる	教科書の復習をしてくる
4	6/15	オンライン講義	環境を通して行う教育の意義と保育者の関わりについて理解できる	教科書の復習をしてくる
5	6/22	オンライン講義	物的環境・人的環境・社会的環境について理解できる	教科書の復習をしてくる
6	6/22	オンライン講義	物的環境・人的環境・社会的環境について理解できる	教科書の復習をしてくる
7	6/29	オンライン講義	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と教育課程について理解できる	教科書の復習をしてくる
8	6/29	オンライン講義	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と教育課程について理解できる	教科書の復習をしてくる
9	7/6	オンライン講義	主体的に学ぶ教育方法と教育評価について理解できる	教科書の復習をしてくる
10	7/6	オンライン講義	主体的に学ぶ教育方法と教育評価について理解できる	教科書の復習をしてくる
11	7/13	オンライン講義	遊びを通しての学びについて理解できる	教科書の復習をしてくる
12	7/13	オンライン講義	遊びを通しての学びについて理解できる	教科書の復習をしてくる
13	7/20	オンライン講義	指導計画と評価について理解できる	教科書の復習をしてくる
14	7/20	オンライン講義	指導計画と評価について理解できる	教科書の復習をしてくる
15	7/27	オンライン講義	幼児教育・保育におけるICT活用について理解できる	教科書の復習をしてくる
準備学習 時間外学習			別途、科目終末試験対策講座を実施する	
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				
垂見直樹・池田竜介編著『幼児教育・ほいくのための教育方法論』ミネルヴァ書房 2021				

科目名 (英)	幼児と言葉 (Infants and words)		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	富樫裕一
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期 木曜4限
教員の略歴	宮城教育大学大学院修士課程修了、昭和52年～平成7年幼稚園教諭として勤務、その後専門学校専任教員を務め、大学・専門学校非常勤講師							
授業の学習内容	①保育内容の5領域「言葉」に関する理解ができる ②絵本の読み聞かせの実践ができる							
到達目標	①幼児と言葉の関係性が分かる ②言葉の発達過程について理解する ③科目終末試験に合格する							
評価方法と基準	レポート、科目終末試験 100% 出席必須							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/8	講義	幼児期の言葉・発達について理解できる	学習内容を理解する
2	4/15	講義	言葉の面に表れた問題について理解できる	学習内容を理解する
3	4/22	講義	領域「言葉」の子どもの力を育てるための関わり方を理解できる	学習内容を理解する
4	5/6	講義	領域「言葉」の子どもの力を育てるための関わり方を理解できる	学習内容を理解する
5	5/13	講義	保育者として子どもと関わる際の留意事項について理解できる	学習内容を理解する
6	5/20	講義	レポートの作成の仕方が分かる	レポート課題(提出5/27)
7	5/27	演習	絵本の読み聞かせの実践ができる	実践に向けて力をつける
8	6/3	演習	絵本の読み聞かせの実践ができる	実践に向けて力をつける
準備学習 時間外学習			科目終末試験9/6受験	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
新保育内容シリーズ【新訂】子どもと言葉 岡田明 編				

科目名 (英)	幼児と人間関係 (Infant and human relations)		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	香曾我部 琢
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15(1)	開講区分	前期 木曜・4限
教員の略歴	大学院で教育科学を専攻。卒業後県内外の幼稚園・小中学校、大学の講師を経て、平成25年から現在まで宮城教育大学にて勤務。							
授業の学習内容	保育実践では、幼稚園教育要領や保育所保育指針をふまえることはもちろんのこと、理論に基づいて観察したり指導・援助を行うことも重要である。この授業では幼稚園教育要領や保育所保育指針に示される人間関係にまつわる事柄について、また人間関係の育ちに関わる乳幼児期の心理・社会的発達の理論の基礎を習得する。							
到達目標	領域「人間関係」とその成り立ちについて習得する。 人間関係の育ちに関わる乳幼児期の心理・社会的発達の理論の基礎を習得する。 現代社会の抱える問題に気づき、保育に求められる役割について考察し、指導計画に反映することができる。							
評価方法と基準	受講姿勢と提出物によって総合的に判断する。							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	6月10日	講義	教育要領・保育指針における人間関係のねらいと内容について理解する	教科書の熟読をしてくる
2	6月17日	講義	領域「人間関係」の保育計画と指導、その展開について理解する	教科書の熟読をしてくる
3	6月24日	講義	0歳から2歳までの社会性の発達を学ぶ	教科書の熟読をしてくる
4	7月1日	講義	3歳から6歳までの社会性の発達を学ぶ	教科書の熟読をしてくる
5	7月8日	講義	学童期から青年期までの社会性の発達を学ぶ	教科書の熟読をしてくる
6	7月15日	講義	関係性を育む環境構成と援助の実際を理解する	教科書の熟読をしてくる
7	7月22日	講義	保護者との関係性を考える	教科書の熟読をしてくる
8	7月29日	試験	試験/解説	
準備学習 時間外学習			教科書の熟読をしてくる	
【使用教科書・教材・参考書】 □ 基礎からまなべる保育内容(人間関係)ワークブック				

科目名 (英)	幼児と環境 (Infants and the environment)		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	香曾我部 琢
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15(1)	開講区分	前期 木曜・5限
教員の略歴	大学院で教育科学を専攻。卒業後県内外の幼稚園・小中学校、大学の講師を経て、平成25年から現在まで宮城教育大学にて勤務。							
授業の学習内容	はじめに、保育における領域「環境」の役割を学ぶ。次に、子どもが何を体験することが重要なのかを理解するために、学生自身が自然と触れ合うことの楽しさを体験する。その後、子どもが身近なものを取り入れ、生活しようとする環境を設定するために必要な技術を身につける。							
到達目標	<p>保育における「環境」とは、自然のみを意味しているのではない。保育における「環境」とは、子どもを取り巻くもの全てである。子どもが様々な「環境」に好奇心や探求心をもって関わり、それらを生活に取り入れようとすることの大切さを理解し、説明できるようになることをねらいとする。</p> <p><具体的な目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「環境」と他領域の関わりを理解した上で、領域「環境」の全体構造を説明できる。 ・「環境」のねらいを達成するために必要な遊びを計画できる。 ・「環境」と小学校以降の教科等とのつながりを説明できる。 							
評価方法と基準	定期試験(40%) レポート(30%) 課題成果(30%)							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	6月10日	講義	教育要領・保育指針における環境のねらいと内容について理解する	
2	6月17日	講義	領域「環境」の保育計画と指導、その展開について理解する	配布資料の復習をする
3	6月24日	講義	自然とのふれあいが生み出す学びについて学ぶ	配布資料の復習をする
4	7月1日	講義	アートの環境とモノとの対話、学びについて学ぶ	配布資料の復習をする
5	7月8日	講義	象徴遊びが非認知スキルに与える影響とその実際について理解する	配布資料の復習をする
6	7月15日	講義	地域社会の教育資源の活用について学ぶ	配布資料の復習をする
7	7月22日	講義	環境がアフォードする幼児の動きについて学ぶ	配布資料の復習をする
8	7月29日	試験	試験/解説	試験解説の内容を理解する
準備学習 時間外学習			配布資料の復習をする	
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				
授業中に適宜資料を配布				

科目名 (英)	ピアノ実技 (Piano practical skill)		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	富樫範子
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期 水曜3限
教員の略歴	国立音楽大学卒業後、幼稚園教諭、知的障害者施設の音楽講師を務める。							
授業の学習内容	音楽の基本的な知識を理解し、表現する技術を養う。							
到達目標	保育現場において子ども達の音楽活動を適切に導くために必要な知識・技術を習得する。							
評価方法と基準	出席(20%) 課題の到達度(40%) 実技試験(40%)							

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)	
1	4/8	演習	オリエンテーション (授業の進め方の説明)		歌う、弾くの反復練習と、基本的知識の理解	
2	4/15	演習	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 基本的な 知識 ・楽典を 理解する ↓ ・コード 進行を理 解する </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 歌う 季節の 歌や生 活の歌 など歌 うこと に慣れ る </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 弾く 指定さ れたピ アノ曲 を演奏 する </div> </div>		歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する	
3	4/22	演習				歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
4	5/6	演習				歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
5	5/13	演習				歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
6	5/20	演習				歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
7	5/27	演習				歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
8	6/3	演習				歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
9	6/10	演習				歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
10	6/17	演習				歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
11	6/24	演習				歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
12	7/1	演習				歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
13	7/8	演習		実技試験の準備をする		歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
14	7/15	演習	実技試験の準備をする		歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する	
15	7/29	演習	試験		歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する	
準備学習 時間外学習						
【使用教科書・教材・参考書】 こどものうた100、子どものための音楽表現技術など						

科目名 (英)	ピアノ実技 (Piano practical skill)		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	富樫範子
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期 水曜3限
教員の略歴	国立音楽大学卒業後、幼稚園教諭、知的障害者施設の音楽講師を務める。							
授業の学習内容	音楽の基本的な知識を理解し、表現する技術を養う。							
到達目標	保育現場において子ども達の音楽活動を適切に導くために必要な知識・技術を習得する。							
評価方法と基準	出席(20%) 課題の到達度(40%) 実技試験(40%)							

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
16	9/30	演習	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 基本的な 知識 ↓ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 弾き歌 い ↓ 色々な 歌に伴 奏をつ けて歌 う </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 弾く ↓ 指定さ れたピ アノ曲 を演奏 する </div> </div>		歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
17	10/7	演習			歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
18	10/14	演習			歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
19	10/21	演習			歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
20	10/28	演習			歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
21	11/4	演習			歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
22	11/11	演習			歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
23	11/18	演習			歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
24	11/25	演習			歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
25	12/2	演習			歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
26	12/9	演習		歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する	
27	1/13	演習		歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する	
28	1/20	演習	実技試験の準備をする		歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
29	1/27	演習	実技試験の準備をする		歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
30	1/27	演習	試験・まとめ		歌う、弾くの反復練習と、基本的知識を理解する
準備学習 時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】 こどものうた100、子どものための音楽表現技術など					

科目名 (英)	教材研究・制作 (Materials Research and Production)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	土屋 高志
学科・コース	こども保育	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期 水曜1.2限
教員の略歴	幼稚園教諭・保育士・支援学校教員・人形劇団代表・おもちゃコンサルタント・児童館職員・専門学校講師						
授業の学習 内容	既製の保育教材、保育教材としてのおもちゃ、身近なものや自然物、そこから作る手作りおもちゃや壁面装飾などなど、実際に触れて遊んだり作ったりしていく。 後半は児童文化財でもある人形劇を体験し製作する。その中で、学生同士、話し合い、保育を考えていく。						
到達目標	乳幼児の成長発達を助ける保育教材にはどんなものがあるかを知ったり、実際に体験することで、保育現場で保育のねらいや活動にふさわしい教材を選択したり制作したりできるようになっていく。						
評価方法と基準	1)出席日数40% 2)制作物・制作実技30% 3)授業内評価30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1・2	4月7日	講義と演習	オリエンテーション	講義の内容を理解する
3・4	4月21日	講義と演習	布で遊ぶことができる	講義の内容を理解する
5・6	4月28日	講義と演習	紙で遊ぶ/牛乳パックで遊ぶことができる	講義の内容を理解する
7・8	5月12日	講義と演習	ビニール袋で遊ぶことができる	講義の内容を理解する
9・10	5月19日	講義と演習	紙袋で遊ぶことができる	講義の内容を理解する
11・12	5月26日	講義と演習	紙コップで遊ぶことができる	講義の内容を理解する
13・14	6月2日	講義と演習	飛ばしてあそぶことができる	講義の内容を理解する
15・16	6月9日	講義と演習	回して遊ぶことができる	講義の内容を理解する
17・18	6月16日	講義と演習	アナログおもちゃで遊ぶことができる	講義の内容を理解する
19・20	6月23日	講義と演習	自然物で遊ぶことができる	講義の内容を理解する
21・22	6月30日	講義と演習	人形劇を観る	講義の内容を理解する
23・24	7月7日	講義と演習	人形劇と子どもの反応と保育を考察する	講義の内容を理解する
25・26	7月14日	講義と演習	人形劇で遊ぶことができる	講義の内容を理解する
27・28	7月21日	講義と演習	人形劇を演ずる 1	講義の内容を理解する
29・30	7月28日	講義と演習	人形劇を演ずる 2	講義の内容を理解する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

授業内で資料を配布

科目名 (英)	ふれあい実習 (Friendship Training)		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	増永那津美
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年 (前期 木・2限)
教員の略歴	仙台市公立保育士、認定こども園保育教諭経験を経て仙台医健・スポーツ専門学校専任教員							
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもとの関わりに必要な、保育者としての心構え、身だしなみ、技術について学習する。 ・実習の役に立つ教材を制作する。 							
到達目標	子どもとの関わりに向けた様々な準備をしっかりと行い、実際に関わることで実践力を身につけることを目標とする。							
評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト・・・40% ・授業態度・意欲・・・30% ・出席・・・30% 							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/5	講義	オリエンテーション・自己紹介	学んだことを理解する
2	4/23	演習	エプロンにつける名札を制作することができる	学んだことを理解する
3	5/7	演習	エプロンにつける名札を制作することができる	学んだことを理解する
4	5/20	演習	エプロンにつける名札を制作することができる	学んだことを理解する
5	5/26	演習	エプロンにつける名札を制作することができる・発表会	学んだことを理解する
6	5/27	講義	観察実習の心構え・注意事項を理解することができる	学んだことを理解する
7	6/3	講義	観察実習の心構え・注意事項を理解することができる	学んだことを理解する
8	6/10	実習	保育園にて観察実習を行い、乳幼児の姿を観察することができる	学んだことを理解する
9	6/17	演習	観察実習の振り返りを行い、課題を見つけることができる	学んだことを理解する
10	6/24	講義	エプロンシアターについて知識を深めることができる	学んだことを理解する
11	7/1	演習	エプロンシアターを制作することができる	学んだことを理解する
12	7/8	演習	エプロンシアターを制作することができる	学んだことを理解する
13	7/15	演習	エプロンシアターを制作することができる	学んだことを理解する
14	7/22	実習	保育園にて観察実習を行い、乳幼児の姿を観察することができる	学んだことを理解する
15	7/29	演習	観察実習の振り返りを行い、課題を見つけることができる	学んだことを理解する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □ エプロンシアターセット				

科目名 (英)	ふれあい実習 (Friendship Training)		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	増永那津美
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年 (後期 水曜3限)
教員の略歴	仙台市公立保育士、認定こども園保育教諭経験を経て仙台医健・スポーツ専門学校専任教員							
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもとの関わりに必要な、保育者としての心構え、身だしなみ、技術について学習する。 ・実習の役に立つ教材を制作する。 							
到達目標	子どもとの関わりに向けた様々な準備をしっかりと行い、実際に関わることで実践力を身につけることを目標とする。							
評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト・・・40% ・授業態度・意欲・・・30% ・出席・・・30% 							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
16	10/6	演習	エブロンシアターを制作することができる	学んだことを理解する
17	10/13	演習	エブロンシアターの発表練習をし、演ずる歳のポイントを意識することができる	学んだことを理解する
18	10/20	演習	エブロンシアターを演ずることができる	学んだことを理解する
19	10/27	演習	エブロンシアターを演ずることができる	学んだことを理解する
20	11/10	講義	パネルシアターについて学ぶことができる	学んだことを理解する
21	11/17	演習	パネルシアターを制作することができる	学んだことを理解する
22	11/24	演習	パネルシアターを制作することができる	学んだことを理解する
23	12/1	実習	保育園にて観察実習を行い、乳幼児の姿を観察することができる	学んだことを理解する
24	12/8	演習	パネルシアターを制作することができる	学んだことを理解する
25	12/8	演習	パネルシアターの発表練習をし、対象年齢のポイントを意識することができる	学んだことを理解する
26	12/15	演習	パネルシアターを演ずることができる (試験)	学んだことを理解する
27	12/22	演習	パネルシアターを演ずることができる (試験)	学んだことを理解する
28	1/14	講義	科目終末試験対策講座	学んだことを理解する
29	1/21	講義	科目終末試験対策講座	学んだことを理解する
30	1/28	講義	振り返り・まとめ	学んだことを理解する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	各種特化科目 子どもの身体表現 (Children's Physical Expression)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	笹氣 真歩
	学科・コース こども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 金曜3限
教員の略歴	リトミック研究センター宮城第一支局リズム講師、専門学校にてリトミック指導歴15年						
授業の学習内容	年齢別のリトミックを体験し、カリキュラムをたてる。実習及び卒業後に使うスキルとして、授業内ティーチングを経験。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢別、発達段階にあわせたカリキュラムを作成することができる。 ・自分で組み立てたカリキュラムをもとに、ティーチング発表することができる。 ・こどもに伝えるためにはどんな工夫が必要か考え、お互いの指導内容に意見することができる。 						
評価方法と基準	授業内評価(出席数・ティーチング実技演習含む)70%、定期試験30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9月10日	演習	リトミックを体験し理解する	授業の内容を理解する
2	9月17日	演習	年齢別リトミック体験を通しできる動作を理解する(3歳)	授業の内容を理解する
3	9月24日	演習	年齢別リトミック体験を通し、できる動作を理解する(4歳)	授業の内容を理解する
4	10月1日	演習	年齢別リトミック体験を通し、できる動作を理解する(5歳)	授業の内容を理解する
5	10月8日	演習	年齢別リトミック体験を通し、できる動作を理解する(1歳2歳)	授業の内容を理解する
6	10月15日	演習	テーブルリトミック(春)の体験を理解する	授業の内容を理解する
7	10月22日	演習	テーブルリトミック(夏)の体験を理解する	授業の内容を理解する
8	10月29日	演習	テーブルリトミック(秋)の体験を理解する	授業の内容を理解する
9	11月5日	演習	テーブルリトミック(冬)の体験を理解する	授業の内容を理解する
10	11月12日	演習	テーブルリトミック(イベント)を使ってカリキュラムを作成する	発表にむけて準備学習あり
11	11月19日	演習	ティーチング発表をすることができる	制作物など準備学習あり
12	11月26日	演習	ティーチング発表をすることができる	制作物など準備学習あり
13	12月3日	演習	ティーチング発表をすることができる	制作物など準備学習あり
14	12月10日	演習	スキップ・ギャロップ・リズムステップができる	授業の内容を理解する
15	12月17日	演習	リトミックのなりたちとリズムステップができる	自分の考えを述べる設問あり
準備学習 時間外学習			ティーチング発表に向け、制作物など準備学習あり	
【使用教科書・教材・参考書】 □ どこでもできるテーブルリトミック				

科目名 (英)	各種特化科目 子どもクッキング (Kids Cooking)		必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	花澤文乃
	学科・コース	子ども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 月曜1・2限
教員の略歴	盛岡大学短期大学部食物栄養科卒業後、県内調理師養成施設で日本料理実習、総合調理実習の講師を務める							
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> 子ども保育に携わる食育と子供のもつアレルギーに関する知識と対応力を身に着ける。 大人と子供が一緒にできるクッキングのレパートリーやアイデアを身に着ける。 							
到達目標	子どもの安全を確保しつつ食に関する美味しさと喜びを伝えられる指導力を養う。							
評価方法と基準	授業態度 30% 出席率 30% レポート 40%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9月27日	演習	ウェルカムパーティーを開く	学んだことを理解する
2	9月27日	演習	ウェルカムパーティーを開く	学んだことを理解する
3	10月4日	演習	スイートポテトを製作する	学んだことを理解する
4	10月4日	演習	スイートポテトを製作する	学んだことを理解する
5	10月18日	演習	餃子の皮で卵なしキッシュを製作する	学んだことを理解する
6	10月18日	演習	餃子の皮で卵なしキッシュを製作する	学んだことを理解する
7	10月25日	演習	積み木風サンドウィッチを製作する	学んだことを理解する
8	10月25日	演習	積み木風サンドウィッチを製作する	学んだことを理解する
9	11月1日	演習	甘いクッキー&野菜クラッカーを製作する	学んだことを理解する
10	11月1日	演習	甘いクッキー&野菜クラッカーを製作する	学んだことを理解する
11	11月8日	演習	お食事クレープ&おやつクレープを製作する	学んだことを理解する
12	11月8日	演習	お食事クレープ&おやつクレープを製作する	学んだことを理解する
13	11月15日	演習	チョコレートフォンデュパーティーを製作する	学んだことを理解する
14	11月15日	演習	チョコレートフォンデュパーティーを製作する	学んだことを理解する
15	11月22日	演習	ロリポップチョコレートを製作する	学んだことを理解する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	各種特化科目 レクリエーション (Recreation)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	山口愛佳
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期 水曜1・2限
学科・コース	こども保育科						
教員の略歴	パレトン、アニマルフロー資格保持。幼稚園にて勤務しながら、子ども達に運動、パレエ指導を行う。						
授業の学習内容	保育現場における、子どもの実態を知り、現場に必要な力を知り、身につけて行く。「子供が興味を持って自発的に取り組める運動遊びとは」をテーマに置き、子どもの興味や引きつけ方や遊び等を、実践を交えて学ぶ。						
到達目標	・子どもが自発的に取り組める遊び、促し方を学ぶ。・子どもの運動能力について知り、伴って必要な動作について学ぶ。・指導案の作成の仕方を学ぶ。						
評価方法と基準	出席(20%)、実践(30%)、指導案(30%)、実技試験(20%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9月27日	演習	オリエンテーションを通して、レクリエーションとは何か理解する	
2	9月27日	演習	子供が興味を持つ遊びについて学ぶ	配布資料の復習
3	10月4日	演習	子どもの運動面での実態を学ぶ	配布資料の復習
4	10月4日	演習	身体を使った遊びを学ぶ	配布資料の復習
5	10月18日	演習	運動遊びの実践、振り返り	配布資料の復習
6	10月18日	演習	子どもの興味の引き出し方を学ぶ	配布資料の復習
7	10月25日	演習	子供が身につけたい動作について学ぶ	配布資料の復習
8	10月25日	演習	運動あそびの指導案作成	配布資料の復習
9	11月1日	演習	運動遊びの実技演習	指導案作成、実践準備
10	11月1日	演習	実技演習の振り返り、出し物準備	配布資料の復習
11	11月8日	演習	出し物実践、造形用具を用いた運動遊び	出し物準備
12	11月8日	演習	造形用具製作	配布資料の復習
13	11月15日	演習	前回製作の造形用具を用いた運動遊び	造形用具準備
14	11月15日	演習	指導案作成	配布資料の復習
15	11月22日	演習	実践演習テスト	指導案作成、実践準備
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	各種特化科目 レクリエーション (Recreation)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	山口愛佳
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限
教員の経歴	バドミントン、アニマルフロア資格保持。幼稚園にて勤務しながら、子ども達に運動、バレエ指導を行う。						
授業の学習内容	保育現場における、子どもの実態を知り、現場に必要な力を知り、身につけて行く。「子供が興味を持って自発的に取り組める運動遊びとは」をテーマに置き、子どもの興味や引きつけ方や遊び等を、実践を交えて学ぶ。						
到達目標	・子どもが自発的に取り組める遊び、促し方を学ぶ。・子どもの運動能力について知り、伴って必要な動作について学ぶ。・指導案の作成の仕方を学ぶ。						
評価方法と基準	出席(20%)、実践(30%)、指導案(30%)、実技試験(20%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	Oct6日	演習	オリエンテーションを通して、レクリエーションとは何か理解する	
2	Oct6日	演習	子供が興味を持つ遊びについて学ぶ	配布資料の復習
3	Oct13日	演習	子どもの運動面での実態を学ぶ	配布資料の復習
4	Oct13日	演習	身体を使った遊びを学ぶ	配布資料の復習
5	Oct20日	演習	運動遊びの実践、振り返り	配布資料の復習
6	Oct20日	演習	子どもの興味の引き出し方を学ぶ	配布資料の復習
7	Oct27日	演習	子供が身につけたい動作について学ぶ	配布資料の復習
8	Oct27日	演習	運動あそびの指導案作成	配布資料の復習
9	Nov10日	演習	運動遊びの実技演習	指導案作成、実践準備
10	Nov10日	演習	実技演習の振り返り、出し物準備	配布資料の復習
11	Nov17日	演習	出し物実践、造形用具を用いた運動遊び	出し物準備
12	Nov17日	演習	造形用具製作	配布資料の復習
13	Nov24日	演習	前回製作の造形用具を用いた運動遊び	造形用具準備
14	Nov24日	演習	指導案作成	配布資料の復習
15	Dec1日	演習	実践演習テスト	指導案作成、実践準備
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
適宜資料を配布する				

科目名 (英)	資格取得科目 障がい者スポーツ指導員初級講座 (Training for the Disabilities)		必修 選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤一樹
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 土曜
教員の略歴	仙台大学大学院修士課程修了、障害者福祉センターに副所長として勤務、障がい者スポーツ指導員、障がい者フライングディスク第1種審判員							
授業の学習内容	「初級障がい者スポーツ指導員」養成講習会での講習科目に沿い、障がい者福祉施策と障がい者スポーツ、ボランティア論、障がい者スポーツの意義と理念、安全管理、障がいの理論とスポーツ、公認障がい者スポーツ指導者制度、全国障害者スポーツ大会の概要、障がいに応じたスポーツの工夫・実施、障がい者との交流について学習し、説明・実践ができるようになる。							
到達目標	「初級障がい者スポーツ指導員」として認定される。 障がい者の基本内容を理解し、スポーツの導入に必要な基本的知識・技術を身につけ、実践にあたっては、健康や安全管理を重視したしどろができる。さらに、地域の大会や行事に参加すると共に、指導員組織の事業にも積極的に参加するなど地域の障がい者スポーツの振興を支えることができる。							
評価方法と基準	1) 定期テスト30% 2) 出席状況30% 3) 実技演習30% 4) ボランティア意欲10% ※その他、障がいに応じたスポーツ・レクリエーションの工夫について加味します。							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10/30	演習	障がい者の福祉施策と障がい者スポーツについて説明できる	学んだことを振り返る
2	10/30	演習	ボランティア論について説明できる ～視覚障害者スイマー～	学んだことを振り返る
3	10/30	演習	障がい者スポーツの意義と理念について説明できる	学んだことを振り返る
4	10/30	演習	障がいの理解とスポーツ：身体障害 ウイニングパス を体験する	学んだことを振り返る
5	11/6	演習	障がいに応じたスポーツの工夫・実施ができる(1)	学んだことを振り返る
6	11/6	演習	障がいに応じたスポーツの工夫・実施ができる(2)	学んだことを振り返る
7	11/6	演習	障がい者との交流をする	学んだことを振り返る
8	11/6	演習	障がい者の理解とスポーツ：視覚障害	学んだことを振り返る
9	11/20	演習	安全管理ができる	学んだことを振り返る
10	11/20	演習	全国障がい者スポーツ大会の概要が説明できる	学んだことを振り返る
11	11/20	演習	障がいの理解とスポーツ：精神障害 バレーボール を体験する	学んだことを振り返る
12	11/20	演習	障がいの理解とスポーツ：脳性麻痺 ポッチャ を体験する	学んだことを振り返る
13	11/27	演習	障がい者スポーツ指導者制度について説明できる	学んだことを振り返る
14	11/27	試験	定期試験	試験勉強を行う。
15	11/27	演習	試験解説	解説内容をノートにまとめる。
準備学習 時間外学習			学んだことを振り返る。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
授業内配布資料				

科目名 (英)	英会話 I (English Conversation I)		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	Mark Zorota
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15(1)	開講区分	前期・集中 曜日・時限
教員の略歴	ヨーク大学卒業後ビクトリア大学修士課程修了、ティーチングアシスタント、英語教師を経てBeyond School in Sendai CEO							
授業の学習内容	グローバルな感性を養い、コミュニケーションに必要な英会話を学ぶ。 文法から日常英会話、専門用語まで、幅広い教材を使用し、幅広い英会話場面を設定する。その多面的環境から基本的な英会話のセンスを身に付けていく。							
到達目標	グローバルな感性を養い、コミュニケーションに必要な基本的英語力を習得する。							
評価方法と基準	筆記100%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9月7日	講義	挨拶と自己紹介ができる	教科書の予習・復習をする
2	9月7日	講義	質問の仕方/答え方、Yes/Noで答える質問をすることができる	教科書の予習・復習をする
3	9月7日	講義	Wh-で始まる質問をすることができる	教科書の予習・復習をする
4	9月7日	講義	理由を尋ねる、自分の知らない事を話すことができる	教科書の予習・復習をする
5	9月7日	講義	市や町、天候などについて話すことができる	教科書の予習・復習をする
6	9月14日	講義	自分の興味があるものについて話すことができる	教科書の予習・復習をする
7	9月14日	講義	音楽について話すことができる	教科書の予習・復習をする
8	9月14日	講義	自分の考え、doやdoesを使った質問をすることができる	教科書の予習・復習をする
9	9月14日	講義	映画について：好きと嫌いについて述べることができる	教科書の予習・復習をする
10	9月14日	講義	単数形と複数形について話すことができる	教科書の予習・復習をする
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
Speak Now 1				

科目名 (英)	生涯スポーツ (Lifelong Sports)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐藤一樹
	学科・コース	子ども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時限
教員の略歴	仙台大学大学院修士課程修了、障害者福祉センターに副所長として勤務、障がい者スポーツ指導員、障がい者フライングディスク第1種審判員						
授業の学習内容	将来保育者として子どもの発育に係わる発達や、子どもの年齢に合わせた運動および指導法を理解する。また、生涯を通じて継続的に自主的にかつ強力的に運動を実践するための知識や態度を養うことによって、明るく豊かで心身ともに健康な生活を営むための知識や実践を交え学ぶ						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な動きを体験を踏まえ効果を理解する ・体験を踏まえゲームを考案する ・考案したゲームを実践し、改善点を見つけより現場で実践できるよう工夫する 						
評価方法と基準	出席数(30%)、実技試験(70%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	6月26日	演習	オリエンテーション・アイスブレイクを実践する	学習内容を理解する
2	6月26日	演習	カラーマーカーを使用したオセロゲームを実践する	学習内容を理解する
3	6月26日	演習	ネイチャーゲーム(色あわせ)を実践する	学習内容を理解する
4	6月26日	演習	ネイチャーゲーム(ネイチャービンゴ)を実践する	学習内容を理解する
5	6月26日	演習	ネイチャーゲーム(ネイチャーフォト)を実践する	学習内容を理解する
6	7月24日	演習	ネイチャーゲーム(ネイチャーフォト)を実践する	学習内容を理解する
7	7月24日	演習	ネイチャーゲーム(ネイチャーフォト)を実践する	学習内容を理解する
8	7月24日	演習	新聞紙を使った運動を実践する	学習内容を理解する
9	7月24日	演習	新聞紙を使った運動を実践する	学習内容を理解する
10	7月24日	演習	新聞ボールづくりを実践する	学習内容を理解する
11	7月31日	演習	新聞ボールづくりを実践する	学習内容を理解する
12	7月31日	演習	転がしドッチボールを実践する	学習内容を理解する
13	7月31日	演習	転がしドッチボールを発展させる	学習内容を理解する
14	7月31日	演習	ドッチボールを実践する	学習内容を理解する
15	7月31日	演習	ドッチボールを実践する	学習内容を理解する
準備学習 時間外学習			学習内容を理解する	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
適宜資料を配布する				

科目名 (英)	情報処理入門 I (Information Processing Introduction I)		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	阿部 かざみ
	学科・コース	こども保育科学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期・ 集中
教員の略歴	Word・Excel・PowerPointの操作方法を専門学校・PCスクール・企業研修・就職支援などで指導							
授業の学習内容	プレゼンテーションツールのPowerPointをの内容の組み立て方、作成手順、資料の探し方などを学習し、他人に自分の考えを伝える効果的な方法を学ぶ。 また、学会での発表用のみではなく、提案事項・会議用ツール・ポスター作成などに活用できる必要なパソコンスキルを学ぶ。							
到達目標	PowerPointの基本操作、プレゼンテーションの流れを自分で組み立て、見栄えのするスライドを作成し、人にわかりやすく伝わる発表技術を身に着け、資料作成・電子かみしばい用ツールとして使用できるレベルを目指す							
評価方法と基準	発表技術40% 作品課題40% 出席点・平常点20%							

授業計画・内容									
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)				
1	1/26	実習	プレゼンテーションの基礎知識・スライドを作成する	準備学習 Word・Excelで行った、グラフィックス機能、表作成、グラフ作成などができる方が望ましい					
2	1/26	実習	グラフィックス機能、表やグラフの挿入、アニメーション機能を理解する						
3	1/26	実習	プレゼンテーション実行、リハーサルをする						
4	1/26	実習	スライドマスター、スライドショー実行中の機能を理解する						
5	1/26	実習	作品を作成させる						
6	2/2	実習	プレゼンテーションの活用(チラシ作成)ができる						
7	2/2	実習	作品を作成させる			学習課題			
8	2/2	実習	作品を作成させる			積み重ね授業になるので、授業終了後は復習をし、確実に次の時間に活かせることが望ましい			
9	2/2	実習	発表用原稿印刷・リハーサル・最終修正ができる						
10	2/2	実習	発表をする						
準備学習 時間外学習			パソコン操作に慣れるためにも時間外にも報告書・課題などパソコンを使用して作成してほしい						
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>									
滋慶出版社 PowerPoint2010									

科目名 (英)	幼児と音楽表現 (Infants and Music Representation)		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	富樫範子
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期・集中 曜日・時限
教員の略歴	国立音楽大学卒業後、幼稚園教諭、知的障害者施設の音楽講師を務める。							
授業の学習内容	保育現場で活かすことのできる音楽技術の習得							
到達目標	保育者として子どもに歌い聴かせるための声楽の基礎を学ぶとともに、基本歴な音楽理論を理解する。 弾き歌いに必要となる鍵盤楽器の基礎を身につける。							
評価方法と基準	授業の受講姿勢(20%) 課題の到達度(40%) 実技試験(40%)							

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1	1/12	演習	・発声のメカニズムと発声法 ・ピアノ伴奏の役割について理解する		内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
2	1/12	演習	記録表 ピアノ①の確認をする		内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
3	1/12	演習	記録表 声楽の設題1・2・3ができる		内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
4	1/12	演習	記録表 ピアノ②の練習をする		内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
5	1/12	演習	記録表 ピアノ②の練習をする		内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
6	1/19	演習	記録表 ピアノ②の練習をする		内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
7	1/19	演習	記録表 声楽 設題4・5ができる		内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
8	1/19	演習	記録表 ピアノ②の練習をする		内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
9	1/19	演習	試験課題発表し練習する		内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
10	1/19	演習	実技試験		内容を理解し、音楽表現の向上と表現方法を検討する
準備学習 時間外学習			記録表 ピアノ①が終了していること		
【使用教科書・教材・参考書】 音楽 ピアノ教本 声楽教本					

科目名	健康(指導法)		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	安藤 正樹
	(Health Method of Teaching)		授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期・集中 曜日・時限
学科・コース	こども保育科							
教員の略歴	平成2年宮城教育大学修士課程修了、昭和52年～平成7年幼稚園勤務、専門学校専任教員及び大学非常勤講師							
授業の学習内容	子どもが健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うために、保育者として必要な技術と知識について演習形式での授業を実施する。子どもがのびのびと活動し、進んで運動したりする意欲が育つようにするための援助の在り方、望ましい遊びの環境、保育の展開の仕方などについて学ぶ。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育内容指導法「健康」に関して、保育者として必要な技術と知識の習得できる。 ・子どもの心身発達の特徴、発達段階に応じた指導・援助について理解できる。 ・保育者の役割と情報機器・教材の活用、指導案作成の仕方について理解できる。 							
評価方法と基準	授業中のレポート(30%)、実技試験(30%)、学習態度(20%)、意欲(20%)(時間外での体得練習等を含む)で評価する。							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)			
1	5月8日	講義	幼児教育の基本、健康の定義が分かる	授業内容の復習、	次回の準備			
2	5月8日	講義	スキャモンの発育曲線が理解できる。	授業内容の復習、	次回の準備			
3	5月8日	講義	体格、体型、骨の成長が理解できる。	授業内容の復習、	次回の準備			
4	5月8日	講義と演習	折り紙を使った遊びが実践できる。	実践の復習、	次回の準備			
5	5月8日	講義	子どもの心身の問題が把握できる。	授業内容の復習、	次回の準備			
6	5月15日	講義	子どもの運動能力の問題が分かる。	授業内容の復習、	次回の準備			
7	5月15日	講義と演習	独楽回し遊びの基本が実践できる。	実践の復習、	次回の準備			
8	5月15日	講義と演習	独楽回し遊びの多くの技ができる。	実践の復習、	次回の準備			
9	5月15日	講義	指導案の作成、模擬保育ができる。	授業内容の復習、	次回の準備			
10	5月15日	講義	保育者の役割をまとめることができる。	授業内容の復習				
準備学習 時間外学習			それぞれの時間の講義・演習内容を復習し、次回の準備ができる。					
【使用教科書・教材・参考書】								
『子どもの元気を取り戻す保育内容「健康」』池田裕恵編著(杏林書院) 『独楽・こま』全日本独楽回しの会監修(文溪堂)								

科目名 (英)	教育心理学	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	江崎 浩明
	(Educational Psychology)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期・集中 曜日・時限
学科・コース	こども保育科						
教員の略歴	大学院にて心理学を専攻。その後、産業・学校・医療領域にて約15年間、教育、相談業務に従事。						
授業の学習内容	心理学の成り立ちや基礎的な心理学用語・概念を学ぶことで、多くの人が持つ誤解や偏見から脱し、人が持つ考え方や捉え方の特徴について学びます。子どもと親をはじめ、ありとあらゆる人間関係の基本である2者間の心理的距離感について、さまざまなケースを知り、その多様性を学びます。また、自分自身を支える一つの柱として心理学的な視点を養います。						
到達目標	心理学の歴史や他の周辺領域との関連性、用語や概念を学術的基盤に則って学ぶことにより、雑学的な知識ではなく人間を理解する一助としての基礎心理学について理解する。 これらの学びを、客観的な自己把握・自己理解のために用いることができるようになる。 他者を主観的又は好き嫌いの感情的な枠組みのみで捉えるのではなく、特に自分と考えや行動が異なる場合、知的好奇心や興味関心を持ち、客観的な枠組みで捉えることができるようになる。						
評価方法と基準	1. 定期試験100%(選択式と記述式)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9月22日	講義	基礎心理学のおさらい 基礎的心理用語や概念の理解度チェックをおこなう。	基礎的な心理学用語・概念を思い出しておく。
2	9月22日	講義	こどもとの距離感 嫉・過干渉・過保護・ネグレクトなど、親と子の適切な距離感について理解	自分や友人の家族における親子関係・距離感・干渉度合いについて考えておく。
3	9月22日	講義	教育的観点とは かわり方の違いによる自主性獲得の有無について理解する。	何かを教わる際に、どのように教わったときが最も理解しやすく抵抗無く習得できたかについて考
4	9月22日	講義	育児・教育における恐怖喚起 市場による脅迫的教育戦略の危険性について理解する。	自分が持つ”こうであらねばならない”には何かがあるか考えておく。
5	9月22日	講義	学校の特殊性 一斉教育、校則の厳格化等、画一化のメリットとデメリットについて理解する。	小中高校の学生生活や生徒指導・校則の良かったと納得がいかなかった点について考えておく。
6	9月29日	講義	学習効果 目標設定と学習に対する効果が現れるまでの期間の個別性について理解する。	何かが上手になる時の時間とスキルアップの関係について、思い返しておく。
7	9月29日	講義	記憶 記憶の種類と分類・定着のさせ方について理解する。	自分なりの記憶の方法や、忘れてしまうことが多いことについて考えておく。
8	9月29日	講義	認知 物事の捉え方・視点等、ある物事に対するイメージについて理解する。	自分と他者とで、何かに対するイメージが異なるものを考えておく。
9	9月29日	講義	多様性の提示 正解の無い問いに対する多様な視点の重要性を理解する。	正解の無い問いに遭遇したさい、採取的にはどのような決め方を行なうかについて考えておく。
10	9月29日	講義	総復習	これまで学んだ概念や用語の総復習
準備学習 時間外学習			学んだ概念を、日々の生活で感じ・思い返して復習してください。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
保育に生かす教育心理学 伊藤健次 編 (株)みらい				

科目名 (英)	人間関係(指導法)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	香曾我部 琢
	(Human Relations Method of Teaching)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15(1)	開講区分	前期・集中 曜日・時限
学科・コース	こども保育科						
教員の略歴	大学院で教育科学を専攻。卒業後県内外の幼稚園・小中学校、大学の講師を経て、平成25年から現在まで宮城教育大学にて勤務。						
授業の学習内容	人との豊かな関わりを育てる保育者としての役割と視点について理解できる。						
到達目標	乳幼児における「人と関わる力」の育ちの過程を理解する。 「人と関わる力」がひとり一人の生きる力を支えていくことを認識し、保育者の役割を理解する。 保護者との人間関係、保育者同士の人間関係の重要性を理解する。						
評価方法と基準	授業の振り返りシート(20%)、授業に取り組む姿勢(20%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	8月26日	講義	オリエンテーションにて人間関係」とは何か学ぶ	学習内容を理解する
2	8月26日	講義	現代における親子・きょうだい・地域の子ども同士の関わりについて学ぶ	学習内容を理解する
3	8月26日	講義	養育者との信頼関係について学ぶ	学習内容を理解する
4	8月26日	講義	身近な人と育む人間関係について学ぶ	学習内容を理解する
5	8月26日	講義	遊びや生活の中で育つ人間関係について学ぶ	学習内容を理解する
6	8月27日	講義	一緒に活動する楽しさを味わう	学習内容を理解する
7	8月27日	講義	個と集団の育ちからみた「人と関わる力」について学ぶ	学習内容を理解する
8	8月27日	講義	人間関係を通して育つ協同性について学ぶ	学習内容を理解する
9	8月27日	講義	言葉を通じて深まる人間関係について学ぶ	学習内容を理解する
10	8月27日	講義	人間関係を通して芽生える規範意識・道徳性について学ぶ	学習内容を理解する
準備学習 時間外学習			学習内容を理解する	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
適宜資料を配布				

科目名 (英)	造形表現(指導法)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	相馬 亮
	(Modeling Representation Method of Teaching)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期・集中 曜日・時限
学科・コース	こども保育科						
教員の略歴	福島大学大学院修士課程修了、図画工作、美術の教員として19年間各地の小・中・高・大学にて指導している。						
授業の学習内容	幼稚園教育要領・保育所保育指針「表現」領域の中の造形・表現活動の分野について理解を深める。また、実際の保育実践に即した演習や指導案の作成、発表を通して、現場の保育者となったときに、造形・表現活動に意欲的に取り組むことができる保育者としての、基礎的な資質や力量の形成を目指す。						
到達目標	①造形表現活動指導についての基礎的かつ実践的な知識を身につけることができる。 ②子どもたちの発達段階や日々変化する教育現場に対応できるよう、基本概念、指導方法、教材開発の力を身につけ、自分なりの「造形教育観」をもつことができる。						
評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への態度 10%(授業への取り組みの姿勢、授業準備、出席等により評価する) ・ポートフォリオ 10%(授業のプリント等のまとめの様子から評価する) ・指導案 20%(適切な指導案が作成されているかで評価する) ・試験 60% 						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	12月11日	講義	造形表現の意義について理解することができる	子どもの造形表現について調査してくる
2	12月11日	講義	幼稚園教育要領・保育所保育指針について理解することができる	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」を熟読してくる
3	12月11日	講義	子どもの絵の発達について理解することができる	子どもの絵について調査してくる
4	12月11日	講義と演習	造形表現の材料と用具について理解することができる	様々な描画材について調査してくる
5	12月11日	講義	レッジョ・エミリアの教育から学ぶことができる	レッジョ・エミリアについて調査してくる
6	12月18日	講義と演習	指導案の草案を作成することができる	何をテーマに活動するかを考えてくる
7	12月18日	講義と演習	指導案の草案を作成することができる	指導案作成を進めておく
8	12月18日	講義と演習	指導案の参考作品を制作することができる	指導案作成を進めておく
9	12月18日	講義と演習	指導案の参考作品を制作することができる	指導案作成を進めておく
10	12月18日	講義と演習	指導案を完成させることができる	指導案作成を完成させておく
準備学習 時間外学習			前時の復習を踏まえ、次時の予習を中心とした準備学習を基本とする。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
文科省・厚労省『幼稚園教育要領・保育所保育指針 原本(平成29年告示)』。その他、必要に応じて資料を配布する。				

科目名 (英)	音楽表現(指導法) (Music Representation(Method of Teaching))		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	富樫 範子
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期・集中 曜日・時限
教員の略歴	国立音楽大学卒業後、幼稚園教諭を経てサンリツ、ヤマハ、知的障害者通所施設等でピアノ講師をしている。							
授業の学習内容	音・音楽による表現を主として、言葉・絵や文字・動きによる様々な表現を経験しながら、手遊びなど月齢・年齢に応じた音楽あそびについて理解する。							
到達目標	いろいろな音楽表現を体験し、保育現場で柔軟性に富んだ表現方法と指導法を理解する。							
評価方法と基準	授業の受講姿勢(20%) 実技試験(60%)							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9/8	演習	音による自己表現を学ぶ	授業内容を理解し、恥ずかしがらずに自己表現をする。
2	9/8	演習	動きのある音楽遊び、リズム遊びができるようになる	授業内容を理解し、恥ずかしがらずに自己表現をする。
3	9/8	演習	様々な音楽遊びを学ぶ	授業内容を理解し、恥ずかしがらずに自己表現をする。
4	9/8	演習	手遊び、指遊び、絵描き、うたわらべうた、歌遊びができるようになる	授業内容を理解し、恥ずかしがらずに自己表現をする。
5	9/8	演習	手遊び、指遊び、絵描き、うたわらべうた、歌遊びができるようになる	授業内容を理解し、恥ずかしがらずに自己表現をする。
6	9/9	演習	教材と音楽①音楽劇の表現方法を学ぶ	授業内容を理解し、恥ずかしがらずに自己表現をする。
7	9/9	演習	教材と音楽②上演に向けての準備をする	授業内容を理解し、恥ずかしがらずに自己表現をする。
8	9/9	演習	教材と音楽③上演に向けての準備をする	授業内容を理解し、恥ずかしがらずに自己表現をする。
9	9/9	演習	教材と音楽④上演に向けての準備をする	授業内容を理解し、恥ずかしがらずに自己表現をする。
10	9/9	演習	音楽発表会(実技試験)をする	授業内容を理解し、恥ずかしがらずに自己表現をする。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 保育者をめざす楽しい表現 こどものうた100、200				

科目名 (英)	環境(指導法)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	香曾我部 琢
	(Environment Method of Teaching)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15(1)	開講区分	前期・集中 曜日・時限
学科・コース	こども保育科						
教員の略歴	大学院で教育科学を専攻。卒業後県内外の幼稚園・小中学校、大学の講師を経て、平成25年から現在まで宮城教育大学にて勤務。						
授業の学習内容	子どもの発達における環境の重要性や幼稚園教育における評価、小学校の科目とのつながりについて理解し、領域「環境」の狙いについて学習する。						
到達目標	領域「環境」のねらいを念頭に、様々な環境にかかわる保育の内容及び指導に関する知識・技術・ICT機器の活用方法を取得する。						
評価方法と基準	「この授業(環境)で学んだこと」という課題でレポートを後日提出 70% グループ発表の内容 30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9月2日	演習	幼稚園教育の基本と領域について理解する	学習内容を理解する
2	9月2日	演習	領域「環境」の内容と指導上の留意点について理解する	学習内容を理解する
3	9月2日	演習	幼稚園教育における評価と領域について理解する	学習内容を理解する
4	9月2日	演習	領域「環境」の小学校科目とのつながりを理解する	学習内容を理解する
5	9月2日	演習	幼児の発達・学びを意識した領域「環境」の観点からの保育構想を理解する	学習内容を理解する
6	9月3日	演習	ICT機器の活用法を学ぶ	学習内容を理解する
7	9月3日	演習	模擬保育に向けた指導案を作成する	学習内容を理解する
8	9月3日	演習	作成した指導案による実践、グループワークを行う	学習内容を理解する
9	9月3日	演習	模擬保育の振り返りを行う	学習内容を理解する
10	9月3日	演習	身近な自然、事象、地域社会にかかわる保育実践を学ぶ	学習内容を理解する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領				

科目名 (英)	言葉(指導法) (Words(Method of Teaching))		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	富樫 裕一
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 1	開講区分	前期・集中 曜日・時限
教員の略歴	宮城教育大学大学院修士課程修了、昭和52年～平成7年幼稚園教諭として勤務、その後専門学校専任教員を務め、大学・専門学校非常勤講師							
授業の学習内容	保育に対する基本的な考え方の確認を通して子どものことばの発達とそれに関する様々な理論について知る。また子どもたちのことばの発達に付随したわらべうた、詩などと話しことばとの違いなどについても気づく。							
到達目標	ことばの発達と理論を通して具体的各年齢において保育の中で大切にしていかなければならないことを知る。							
評価方法と基準	レポート70% 平常点30%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	6/28	講義	自己紹介 志望の動機の確認をする	学習内容を理解する
2	6/28	講義	保育をするための基本的な考え①を理解する	学習内容を理解する
3	6/28	講義	保育をするための基本的な考え②を理解する	学習内容を理解する
4	6/28	講義	コミュニケーション理論を理解する	学習内容を理解する
5	6/28	講義	絵本深読みシリーズ①②を理解する	学習内容を理解する
6	7/5	講義	子どものことばの発達とその理論①を理解する	学習内容を理解する
7	7/5	講義	子どものことばの発達とその理論②、素話を理解する	学習内容を理解する
8	7/5	講義	子ども向けの詩とわらべうたを理解する	学習内容を理解する
9	7/5	講義	ことばに音やリズムがつくとどうなるのか学ぶ	学習内容を理解する
10	7/5	講義	絵本深読みシリーズ③まとめをする	学習内容を理解する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
授業内で資料を配布				

科目名 (英)	劇あそび(指導法) (Play method of Teaching)		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	笹氣 真歩
	学科・コース	こども保育科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期・集中 曜日・時限
教員の略歴	音楽学院講師、リトミック研究センター講師を経て2007年より演劇企画集団LondonPANDA主宰、一般社団法人 日本演出者協会 協会員							
授業の学習内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・演劇を用いたコミュニケーション教育 講義 ・シアターゲームワークショップ その効用解説 ・創作体験ワークショップ 発表と振り返り 							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・演劇分野で構築されているコミュニケーションワークショップを体感し、構造を理解、そこから新しいプログラムを考える力を獲得する ・シアターゲームなど、アイスブレイクですぐに使えるワークを獲得する ・創作体験を通して、自身のクリエイティビティを獲得する 							
評価方法と基準	授業内評価(出席数・ティーチング実技演習含む)100%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月28日	講義・実技	応用演劇(演劇WS)の体験を理解する	授業内容を理解する
2	5月28日	講義・実技	応用演劇(演劇WS)の体験を理解する	授業内容を理解する
3	5月28日	講義・実技	創作WSの体験を理解する	授業内容を理解する
4	5月28日	実技演習	創作WSの体験を理解する	授業内容を理解する
5	5月28日	実技演習	創作WSの体験を理解し、グループで発表する	授業内容を理解する
6	6月4日	講義・実技	創作WSの体験を理解する	授業内容を理解する
7	6月4日	実技演習	グループ内で創作を進める	授業内容を理解する
8	6月4日	実技演習	グループ内で創作したものを発表する	授業内容を理解する
9	6月4日	実技演習	グループで発表する	授業内容を理解する
10	6月4日	まとめ	振り返り・フィードバックと、新しいプログラムを考えるディスカッションを実施する	授業内容を理解する
準備学習 時間外学習			授業内容を理解する	
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				
適宜資料を配布				

科目名 (英)	保育内容総論	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	齋藤 賢一
	Childcare Contents General Remarks)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15(1)	開講区分	後期・集中 曜日・時限
学科・コース	こども保育科						
教員の略歴	兵庫教育大学大学院博士課程修了、小学校教諭を経て宮城教育大学附属幼稚園勤務後、小学校教頭						
授業の学習内容	保育をめぐる基礎知識を習得し保育実践に反映できるよう基本原理を理解することができる。						
到達目標	保育内容各論の内容について、子どもの生活・遊びの中で総合的にとらえる視点を持つことができるようになる。 指導計画の考え方を理解し、発達を見通した指導計画を作成する。 保育者の役割と援助等、保育者の専門性を理解する。						
評価方法と基準	出席60% 授業態度40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義	保育の構造についてについて理解する	学習内容を理解する
2	10月9日	講義	保育内容の考え方・捉え方を学ぶ	学習内容を理解する
3	10月9日	講義	乳幼児期の発達の特性と発達過程について理解する	学習内容を理解する
4	10月9日	講義	生活や遊びを通した総合的な保育を学ぶ	学習内容を理解する
5	10月9日	講義	実践事例(生活、遊び)を基にグループで討議する	学習内容を理解する
6	10月16日	講義	環境を通して行う保育を考える	学習内容を理解する
7	10月16日	講義	実践事例(環境構成)を基にグループで討議する	学習内容を理解する
8	10月16日	講義	入学前の子ども理解と子どもの生活について学ぶ	学習内容を理解する
9	10月16日	講義	支援を要する子ども理解とクラス運営について学ぶ	学習内容を理解する
10	10月16日	講義	育みたい資質・能力、および「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と活動のつながりを考	学習内容を理解する
準備学習 時間外学習			学習内容を理解する	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
適宜資料を配布				